

【問題Ⅷ】 以下の設問を読み、設問1～4については正しいもの1つを、設問5については正しいと思われるものを4つを選び、解答欄に番号を記載しなさい。[15]

1. 母乳育児の動向について正しいのは以下のどれか。
 - ① 平成17年乳幼児栄養調査において報告された日本の乳児の生後1ヶ月時点の母乳育児率は60.8%である。
 - ② 2003年に出版された「乳幼児の栄養に関する世界的な運動戦略」の中では、母乳育児中の乳児には4-5ヶ月間は完全母乳を行うよう勧めている。
 - ③ 赤ちゃんにやさしい病院運動(BFHI)は、WHO/UNICEFが中心になって推進している運動である。
 - ④ 「母乳育児を成功させるための10カ条」の中には、赤ちゃんが欲しがる時に欲しがるままに授乳することを勧めている項目がある。

2. 母乳分泌調整に関して正しいのは以下のどれか。
 - ① 乳汁の産生機序には、内分泌調整とともに乳房の局所的自己分泌的調整が関与し、乳房の緊満が強くなることで産生を促進する。
 - ② 分娩後、プロラクチンの血中濃度が上昇し続けることによって、乳汁分泌が促進・維持される。
 - ③ 下垂体後葉から分泌されるプロラクチンは乳汁産生に関与し、赤ちゃんの泣き声を聞いたり、赤ちゃんを見たりしても分泌される。
 - ④ プロラクチン・コルチゾールは乳汁産生、オキシトシンは射乳に関与している。

3. 母乳の特性について正しいのは以下のどれか。
 - ① 出生直後の新生児が低血糖にならないように、成乳に比べて初乳中には乳糖が多い。
 - ② 母乳の浸透圧は血清浸透圧とほぼ同等で、児の腎機能への負担が軽い。
 - ③ 母乳に含まれるビフィズス因子は腸内のビフィズス菌の増殖を助け、腸内をpH7に保っている。
 - ④ 授乳経験のない女性に比べて授乳経験のある女性の乳がん発症リスクは減少するが、卵巣がん発症リスクは減少しない。

4. 授乳に関する適切な方法として正しいものは以下のどれか。
 - ① 生後当日は児に糖水を与えて児の子宮外の適応状態を観察するとともに、母親の産後復古と疲労回復を促すため、授乳は産後1日目から開始する。
 - ② 産後3日目の母親が乳房の緊満による乳房の痛みと熱感を訴えている場合、児が吸啜可能な程度に乳頭と乳輪部を柔らかくしてから、直接授乳を促す。授乳と授乳の間は冷湿布を貼用する。
 - ③ 産後2日目で乳房に強い張りがなく児が頻回に飲むときは、分泌が不足していると判断して人工乳を足す。
 - ④ 産後3日目の母親が乳房の緊満による乳房の痛みと熱感を訴えている場合、乳腺炎になる危険があるので、直接授乳は中止して乳房に冷湿布を貼用し3時間ごとに用手排乳する。児には人工乳を与え、医師に薬剤の処方を依頼する。